

## 第31回三遠南信サミット2023 in 遠州 サミット宣言

第31回三遠南信サミット2023 in 遠州は、昨年の第30回の節目を経て、大きな変革の時代を迎えるなか、改めて“連携”について考えることに主眼を置き開催しました。

「地域に新たな価値の芽吹きを ～“気づき”からの魅力共創～」をテーマに、全体会では新たな価値の芽吹きを促すため、全国の先駆的な取組事例から学び、分科会では「道」「生活圏」「官・公と民」をキーワードに本地域内外の連携事例を踏まえ、魅力共創に向けて求められる今後の地域連携について議論しました。

本日の議論を踏まえ、我々三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）は、以下の項目に重点を置き、取組を推進します。

- 1 中部横断自動車道の事例を参考に、三遠南信自動車道が本地域にもたらす効果や全線開通後に向けた道路活用の在り方を模索し、最大限の整備効果を地域へ波及させるための交流や取組、連携を検討します。また、大都市圏や世界と結ばれる広域連携都市圏の形成をさらに進めるため、引き続き三遠南信自動車道の早期全線開通をはじめ、浜松湖西豊橋道路やリニア中央新幹線の早期実現に向け、地域が一体となって提言活動を展開します。
- 2 持続可能な広域生活圏の形成に向け、地域の幅広い情報を連携し、丁寧に届けることで、若者をはじめとする三遠南信地域に魅力を感じる人々と各地域とを結びつけ、共感による関係人口の拡大を図ります。さらに、「価値を共有する者」が活躍できる地域づくりを進めることで、三遠南信地域の魅力を向上させ、より多くの「価値を共有する者」を呼び込む好循環につなげます。
- 3 三遠南信地域の各団体による魅力共創に向けた地域活性化の取組を、県や市町村の単位ではなく、エリア一体となって実践する重要性を再認識し、多様な主体が連携して地域の魅力の磨き直しや発信力の強化を図る取組を進めます。それにより、三遠南信地域の魅力に、より多くの人が気づくよう地域ブランド力の向上に努めます。

本年5月26日には三遠南信自動車道整備において難所と言われていた青崩峠トンネルが貫通し、地域連携の要である三遠南信自動車道の全線開通に大きく近づきました。

また、第三次国土形成計画が7月に閣議決定され、本地域を包含した中部圏広域地方計画の検討が進められています。このような国の計画に関連した取組や時代の大きな変化に対応し、2030年を目標年次とする第2次三遠南信地域連携ビジョンの実現に向け、この場を共有する全ての主体が取組を進めることを確認し、第31回三遠南信サミット2023 in 遠州のサミット宣言とします。

令和5年10月30日

三遠南信地域連携ビジョン推進会議  
第31回三遠南信サミット2023 in 遠州